

令和6年度 射水市社会教育委員会議

日 時 令和6年7月29日(月)

午前10時00分

場 所 市役所本庁舎401会議室

1 開 会

2 議長、副議長の互選

3 議 事

【報告事項】

(1) 令和6年度コミュニティ・スクールについて

(2) 令和5年度社会教育主要事業の現況と成果等について

4 その他

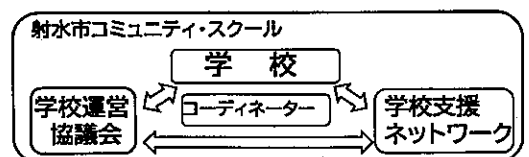
第55回東海北陸社会教育研究大会富山大会・第52回富山県社会教育大会について

5 閉 会

資料 1

令和 6 年度 射水市コミュニティ・スクールについて

- 1 趣旨
学校、家庭、地域が思いを共有し、連携・協働して子どもを育てる
- 2 これまでの取組状況
 - ＜令和 5 年度＞
 - ・市内全小中学校で学校運営協議会委員、学校支援コーディネーターの人选を行った。
 - ・学校運営協議会委員、学校支援コーディネーター候補者、学校管理職を対象に研修会を実施した。
 - ＜令和 6 年度＞
 - ・6月中旬までに各学校で第1回学校運営協議会を開催した。
 - ＜委員等人数＞
 - ・学校運営協議会委員 219名（うち小中兼務者23名）
 - ・コーディネーター
 - 学校支援コーディネーター 44名（うち小中兼務者1名）
 - 放課後支援コーディネーター 3名
- 3 第1回学校運営協議会の内容について
 - ・学校運営協議会委員の任命、学校支援コーディネーターの委嘱
 - ・会長、副会長選出
 - ・コミュニティ・スクールの説明、学校運営協議会規則の確認
 - ・学校運営方針の説明、協議、承認
 - ・学校運営協議会年間活動予定、学校支援ネットワーク等の協議等
- 4 学校支援ネットワークの状況
 - ・昨年度末より各学校、地域の実態に応じて学校支援ボランティア員の募集開始
 - ・7月1日現在 学校支援ボランティア登録者 12校 254名
 - ・その他の学校も今後学校支援ボランティアを募集する予定
- 5 今後の活動予定
 - ・中学校区コミュニティ・スクール情報交換会
 - ・学校巡回指導（CS専任員による巡回）
 - ・先進地視察
 - ・第2回、第3回学校運営協議会
 - ・コミュニティ・スクール推進研修会



令和 5 年度社会教育主要事業の現況と成果等について

事業名	取組状況	R 5 成果 (◇) / 課題 (◆)	今後の取組
放課後子ども教室推進事業 土曜学習推進事業	放課後や週末に小学校の余裕教室等やコミュニティセンターを活用し、地域の多様な経験を持つ方々の協力を得て、子どもたちと交流を図りながら、全 44 サークルの学習やスポーツ、文化活動を行っている。 (主な活動) 曳山囃子、民舞、茶道、お花、音楽、スナッグゴルフ、フラダンス、漢字、算数、英語等 ○R 5 年間延べ参加者数及び開催回数 放課後子ども教室：7,092 人、487 回 土曜学習：701 人、67 回	◇地域の方々と異学年との交流の場として、学校や家庭ではできないような貴重な体験となっている。 ◇開催回数、延べ参加者数ともに昨年度から増加した。 ◇既存のサークルにゲストティーチャーを招くなど、活動の充実と指導者の確保に努めた。	より多くの子どもが有意義な放課後や土曜日を過ごせるように、サークル活動の内容や対象学年を毎年検討しながら、放課後活動の充実に努める。
児童健全育成事業 【放課後児童クラブ】	労働等で昼間に保護者が不在となる家庭の小学生に対し、家庭に代わる生活の場として小学校の余裕教室等を活用し開設することで、放課後及び夏休み等の学校休業日の安全・安心な居場所を確保し、県認定資格研修を修了した支援員により適切な遊びや指導を行うとともに、保護者の子育てと仕事の両立支援を行っている。 ○23 学級：登録児童数 892 人	◇13 校区の児童に遊びや生活の場を提供し、保護者の育児と仕事の両立を支援し、児童の健全育成を図った。 ◇歌の森小学校区において民設民営による新規開設が 1 学級あった。 ◆児童数は減少傾向にあるが利用ニーズは高く、登録児童数は増加傾向にある。	放課後児童クラブの登録児童数増加に対応できるよう、新規開設の運営団体とも連携を取りながら、継続して児童の居場所確保に努める。
児童健全育成事業 【とやまっ子さんさん広場】	地域振興会や NPO 法人等が実施主体となり、地域の子供たちが放課後に交流できる居場所づくりとしてコミュニティセンターや公民館等を活用し開設している。 ○9 か所：登録児童数 478 人	◇地域と連携しながら開設し、引き続き児童の放課後の居場所を確保した。 ◇大門地区において 1 か所の新規開設を支援した。	放課後児童クラブで対応しきれない部分でも柔軟に対応できるよう、地域と連携し、ニーズに合わせた放課後の居場所を確保していく。

事業名	取組状況	R 5 成果 (◇) / 課題 (◆)	今後の取組
家庭教育力向上支援事業	家庭環境や子供を取り巻く環境の課題により悩みを抱える子育て中の保護者を応援するため、小中学生の児童生徒を持つ保護者や親子を対象に、富山大学地域連携推進機構と連携し「いみず親学びスクール」を開催した。 ・専門的な知識を学ぶ講義型講座（1回） ・家庭内のコミュニケーション力向上を図るための親子体験型講座（3回） ○R 5 参加者数：120 人	◇アンケート調査では、講義型の参加者の 83% が子育ての知識やポイント、新しい発見を得ることができたと回答した。 ◇親子体験型では、親子で一緒に過ごす時間を確保し、コミュニケーションの大切さを再確認できた。	引き続き、発達段階に応じた子供への関わり方の学びや、他の保護者との交流・ネットワークづくりの機会を提供し、家庭教育の重要性や家族のコミュニケーション力の向上を図る。
生涯学習活動事業	身近な地域のニーズや地域の人・ものといった資源を的確に把握し、有効に活用した学習活動を展開できる市内全 27 地区の地域振興会に対し、生涯学習事業を委託し地域特性を生かした学習機会の提供に努めている。 ○生涯学習講座（27 館） R 5 年間延べ受講者数：33,061 人 R 5 年間延べ開催回数：986 回	◇コミュニティセンターにおいて、生涯学習、青少年、高齢者、女性など様々な分野の学級・講座を開催した。開催回数・受講者数ともに昨年度から増加しており、地域の特色を生かした生涯学習活動の促進につながった。 ◆身近に学びの環境があることを生かし、幅広い年代の利用について検討する必要がある。	各地域のニーズを把握し、さらに魅力的な事業を企画できるよう、各地区生涯学習推進委員等への情報提供や研修機会の充実に努める。
二十歳のつどい事業	二十歳の門出を祝福するとともに、社会人として自ら生き抜くことへの自覚を促すよう激励した。 R 5 年度二十歳のつどい 5 月 4 日開催 参加者数 747 人 (82.3%)	◇会場後方に保護者席を確保し、家族で門出を祝えるよう、2 部制での開催とした。	天候に左右されず、多くの方が参加できるよう努めながら事業を継続していく。 5 月 4 日の開催日と 1 部・2 部の地区割を固定し、参加者の予定を立てやすくする。

事業名	取組状況	R 5 成果 (◇) / 課題 (◆)	今後の取組
文化財保存事業	・各種文化財の調査・研究による文化財指定・登録を目指すとともに、曳山車の保存修理事業を実施し、適切な保存継承を図った。 ・恒久的な保存活用のため、国重要文化財「石黒信由関係資料」保存修理に取り組んだ。 ・能登半島地震による文化財の被害状況調査と復旧支援に取り組んだ。 ・柴屋文書、片口家文書の整理のほか、地域の歴史、民俗、文化に関わる調査を行った。	◇富山県山(車)・鉾・屋台・行燈祭交流会議の射水市開催を支援し、文化財保護団体の交流と保存継承意識の促進が図られた。 ◇「石黒信由関係資料」保存修理事業に助成を行い、文書記録類 29 点、絵図類 16 点の保存修理が完了した。 ◇文化財防災センターの支援を受け、被災文化財建造物の被害状況を把握するとともに、市指定文化財 1 件の復旧を支援した。	・文化財を適切に次代へ継承するため、各種文化財の調査・研究や修理を必要とする文化財の保存修理事業を行う。 ・国指定文化財等の保存活用計画作成に取り組む。 ・文化財の情報を市内外へ広く発信し、市民の文化財保護意識の高揚を醸成するため、指定文化財等のデジタル化や刊行物の発刊に努める。
国重要無形民俗文化財「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存活用事業	・文化財保護団体が行う保存活用計画作成の支援とともに、修理計画作成のための予備調査を実施した。 ・文化財保護団体と協力して、ユネスコ無形文化遺産拡張提案に必要な各種資料を作成し取り組んだ。	◇保存活用計画作成の会議が 15 回開催され、関連団体も含め、地域全体で保存活用を図る意識の共有につながった。 ◇ユネスコ無形文化遺産へ拡張提案されたことにより、行事関係者や市民の文化財保護意識の高揚が図られた。 ◆担い手が減少するなかで行事を保存継承するためには、文化財保護団体だけでは限界があり、地域社会全体で保存継承を図る体制の整備が必要である。	・文化財保存活用に関する基本的な方針と具体的・計画的な取組を定め、文化庁長官による認定と公開等を通じて、文化財保護団体の主体的な取組と保存継承に対する市民の理解と支援の強化を図る。 ・市民の文化財に対する理解と保護意識を醸成するため、保存継承とのバランスを図りながら、個性豊かな文化資源や伝統文化の一層の活用を推進する。
埋蔵文化財調査事業	・各種開発に先立ち、開発予定地に所在する埋蔵文化財の試掘確認調査を実施し、保護と事業計画との調整を図った。 ・調査研究と保存活用の推進のため、埋蔵文化財センターにおいて、市内主要遺跡の出土品や近年の発掘調査成果を展示公開した。 また、勾玉づくりをはじめとする体験教室等の開催や出土品の貸し出し等、幅広い世代が埋蔵文化財に親しむ機会を設けた。	◇試掘調査 12 件・工事立会 7 件を実施。 ◇『射水市内遺跡発掘調査報告 16』を刊行。 ◇埋蔵文化財センター実施事業 ・「沖塚原東 B 遺跡 網代団扇と庚申薔薇展」(5 月 7～24 日) ・勾玉・鏡・懸仏・人面厄除札づくり (計 17 回、延 115 人)、まいぶんチャレンジデー(51 人)、こども学芸員講座(11 人) ・九州国立博物館、富山県埋蔵文化財センターへの市所蔵出土品貸出	・作道、荒町・宮新田、大島地区、下地区などの県営ほ場整備事業に係る大規模調査が長期的に継続する。 ・引き続き、埋蔵文化財の保護と普及啓発に取り組む。

事業名	取組状況	R5成果(◇)／課題(◆)	今後の取組
富山マラソン開催事業	富山マラソン2023が多くのボランティアの協力のもと開催された。沿道では新湊曳山の展示や獅子舞などで大会を盛り上げたほか、新湊大橋を折り返し地点とするジョギングの部には、1,200人を超えるランナーが参加した。	◇新湊大橋から望む美しい富山湾や立山連峰の雄大な眺望など、本市ベイエリアの魅力をPRすることができた。	引き続き、富山マラソン（ジョギングの部）を開催する。
スポーツ強化育成事業	国際大会や全国大会に出場する選手・監督への激励金並びに成績優秀者への褒賞金を交付した。	◇市スポーツ大会出場激励金交付件数 団体：5団体、個人：326人 ◇褒賞金交付件数 個人：1人	選手が全国大会等で活躍できるよう、選手力向上につながる取組を支援する。
幼児の体力向上支援事業	市内保育園・幼稚園・こども園に指導者を派遣し、幼児に多様な運動遊びを経験させることで運動する楽しさや喜びを実感させるとともに、様々な体の動かし方の習得や体力向上を図った。	◇実施日数：延べ56日 実施施設数：19園	多様な運動遊びを経験する機会を提供することで、幼児の体力向上が図られることから今後も継続して実施する。
地域おこし協力隊（スポーツ推進コーディネーター）事業	令和5年度に着任した地域おこし協力隊（スポーツ推進コーディネーター）がハンドボールのルール等を解説しながら、アランマーレを応援するパブリックビューイングを開催した。また、幼児、小学生向けの運動教室「ムズムズトレーニング教室」を開催した。	◇パブリックビューイング実施回数 1回 市民の中にアランマーレを応援しようという機運が高まった。 ◇ムズムズトレーニング教室実施回数7回 参加者数397人 教室の開催により、運動する楽しさや喜びを感じる機会の創出に繋がった。	地域おこし協力隊の企画により、市民が気軽にスポーツに参加できる機会づくりを推進することができた。今後も継続して実施する。

事業名	取組状況	R 5 成果 (◇) / 課題 (◆)	今後の取組
フットボールセンター管理運営事業	オリバースポーツフィールド射水（フットボールセンター）については、近隣高校等の日常練習や著名なサッカー選手が監修するスクール、各種大会の開催に加え、合宿での利用があった。	◇利用者数 76,696 人 (R4 : 66,814 人) 近隣高校等の日常練習やサッカースクールの開催等により、競技力の向上が図られた。また、幼児から小学生を対象とした多様なスポーツを体験できるイベント「オリスポフェス2023」を開催するなど、賑わい創出に努めた。 ◆令和6年能登半島地震により、人工芝フィールド及び駐車場の隆起・陥没に加え、防球ネット支柱の傾きなどの被害があり、人工芝フィールド2面の利用を停止した。	昨年度の利用者数を上回る多くの方にご利用いただいた。現在、能登半島地震の影響により、人工芝フィールド2面の利用を停止しているが、一日も早い再開に向けて取り組む。

第55回 東海北陸社会教育研究大会富山大会

第52回 富山県社会教育大会

開催要項

大会主題

目指そう！ウェルビーイングな社会
 ～家庭や地域の教育力向上を通して～

- 1 趣 旨

ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。富山県では、ウェルビーイングを成長戦略の中心に位置付けており、一人ひとりが、様々な人や社会とのつながりの中で、日々、自分らしく生きていることに満足でき、心豊かに、幸せをずっと実感できることを目指している。

社会教育は、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生み出し、地域コミュニティにおける個人と地域社会全体のウェルビーイングの向上に大きな役割を担っている。ここに、東海北陸6県1市の社会教育委員をはじめとする社会教育関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換をし、ウェルビーイングの向上に向けた新たな社会教育の振興方策について研究協議を行い研鑽を深める。
- 2 期 日

令和6年10月10日(木)～11日(金)
- 3 会 場

10日(木) 全体会 富山県民会館 大ホール
 〒930-0006 富山市新総曲輪4-18 Tel 076-432-3111
 11日(金) 分科会 富山県民会館 各会場
- 4 参加者

東海北陸各県市町村の社会教育委員及び社会教育関係者
- 5 主 催

(一社)全国社会教育委員連合 東海北陸社会教育委員協議会連合会
 富山県社会教育委員連絡協議会 富山県社会教育振興協議会
- 6 後 援

富山県 富山県教育委員会 富山市 富山市教育委員会
 東海北陸六県市町村教育委員会連合会

7 日 程

■1日目 <10月10日(木)>

12:00	12:45	13:15	13:25	14:05	14:15	15:45	16:15	17:00
受 付	ア ト ラ フ シ ョ ン		開 会 行 事	表 彰 式		記 念 講 演	大 会 宣 言 閉 会 行 事	分 科 会 打 合 せ

■2日目 <10月11日(金)>

9:00	9:20	11:30	11:45
受 付	分 科 会		閉 会

◆10月10日(木)

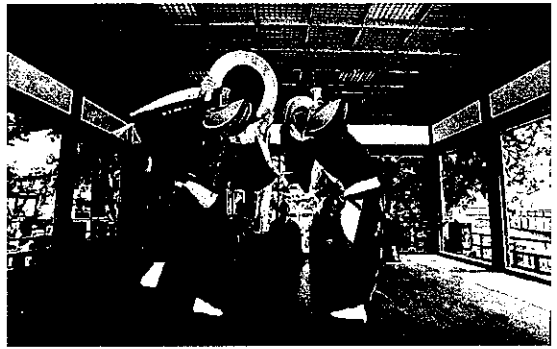
○アトラクション (12:45 ~ 13:15)

越中五箇山こきりこ唄保存会

「こきりこ」は、田楽の一種で、日本で最も古い民謡の一つとされ、国の記録選択無形民俗文化財「五箇山の歌と踊」の一つである。

昭和44年より、音楽科の教材として採用され、全国的に有名になった。

地元の小・中学校や高等学校と連携し、保存・育成活動も積極的に行っている。



○記 念 講 演 (14:15 ~ 15:45)

演題 「未来まで残したい『#富山の本気』」

講師 イナガキヤスト 氏

《プロフィール》

1981年生まれ 富山県射水市出身・在住のフォトグラファー

富山県の風景や家族の写真をX (旧 Twitter) や Instagram などで発表し話題に。総フォロワー数20万人を超える。NHK富山「イナガキヤストの本気旅」、KNB北日本放送「眺めのいい時間」などメディアへの出演も多数。

射水市公式フォトアンバサダー、富山県警察フォトアンバサダー、立山黒部アルペンルートアンバサダーを務める。

写真集『ぼくたちの大切な時間』出版。ジャポニカ学習帳の表紙に写真が採用。



コーディネーター 米原 由紀子 氏

《プロフィール》

元民放テレビ局アナウンサー

現在、とやまアナウンスアカデミーを主宰している。

◆10月11日(金) 【分科会：受付 9:00 ~】

分科会 (9:20 ~ 11:30)

分科会名		話題提供者		司会者	助言者
1	家庭教育の支援	石川県	富山県(氷見市)	石川県	富山大学 名誉教授 神川 康子 氏
2	青少年の健全育成	愛知県	富山県(南砺市)	愛知県	富山国際大学 教授 村上 満 氏
3	地域文化の振興	三重県	富山県(入善町)	三重県	富山県立大学 教授 大石 玄 氏
4	地域の活性化	岐阜県	富山県(富山市)	岐阜県	富山大学 教授 林 誠一 氏
5	社会教育委員の役割と課題	福井県	富山県(上市町)	福井県	富山大学 教授 藤田 公仁子 氏

大 会 事 務 局

第55回東海北陸社会教育研究大会富山大会・第52回富山県社会教育大会
実行委員会事務局

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

富山県教育委員会 生涯学習・文化財室内

電話 076-444-3435 FAX 076-444-4434

参加申込のご案内

1. 参加申込手続きについて

① 大会参加者 ⇒ 名鉄観光サービス株式会社 大会システム

大会参加者は、URL又はQRコードより、直接大会システムにて登録をお願いします。

【申込締切】 令和6年8月9日(金)

<http://www.mwt-mice.com/events/shakai-kyoiku2024toyama>

申込締切後の変更・取消は書面（FAX）にて名鉄観光サービス(株)富山支店迄ご連絡ください。



② 大会参加費、宿泊費の振込

8月中旬より、弊社より請求書を各参加申込代表者様宛に郵送しますので、請求金額を指定口座にお振込ください。（振込手数料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。）

【振込締切】 令和6年9月2日(月)

なお、領収書につきましては払込証の控えをもってかえさせていただきます。

③ 大会参加証等、宿泊券の送付

入金確認後、「大会参加証」「分科会参加券」「宿泊券※」を弊社より、各参加申込代表者様宛へ発送いたします。 ※は申込者のみ

【発送予定日】 令和6年8月26日(月)～9月20日(金)

大会参加証、分科会参加券、宿泊券は当日必ずご持参ください。

2. 参加申込について

【I】 宿泊のご案内（名鉄観光サービス株式会社の募集型企画旅行商品）

記号	ホテル名	食事条件	部屋タイプ (利用人員)	旅行代金 (1名税込み)	アクセス
A	アパホテル富山駅前	1泊朝食	シングル	12,000円	JR富山駅南口より徒歩8分
B	ホテルルートイン富山駅前	1泊朝食	シングル	10,500円	JR富山駅南口より徒歩3分
C	アパホテル富山駅前南	1泊朝食	シングル	9,500円	JR富山駅南口より徒歩3分
D	富山マンテンホテル	1泊朝食	シングル	9,300円	JR富山駅南口より徒歩10分
E	ホテルグランテラス富山	1泊朝食	シングル	9,000円	JR富山駅南口より徒歩7分
F	ホテルグランテラス富山	1泊朝食	ツイン	8,500円	

宿泊設定日：令和6年10月10日(木)～10月11日(金) 1泊2日

希望ホテルを選択ください。

※行程：【1日目】自宅～各自移動～ホテル(泊) 【2日目】ホテル～各自移動～自宅又は後泊地

※最少催行人員：1名、添乗員は同行しません。

※宿泊は1泊朝食付、消費税・サービス料を含む1名様当たりの旅行代金です。

※申込は先着順となります。空室のあるホテルのみ選択が可能です。

※ホテル内での電話代、飲物代、クリーニング代等個人的費用は代金に含まれていません。

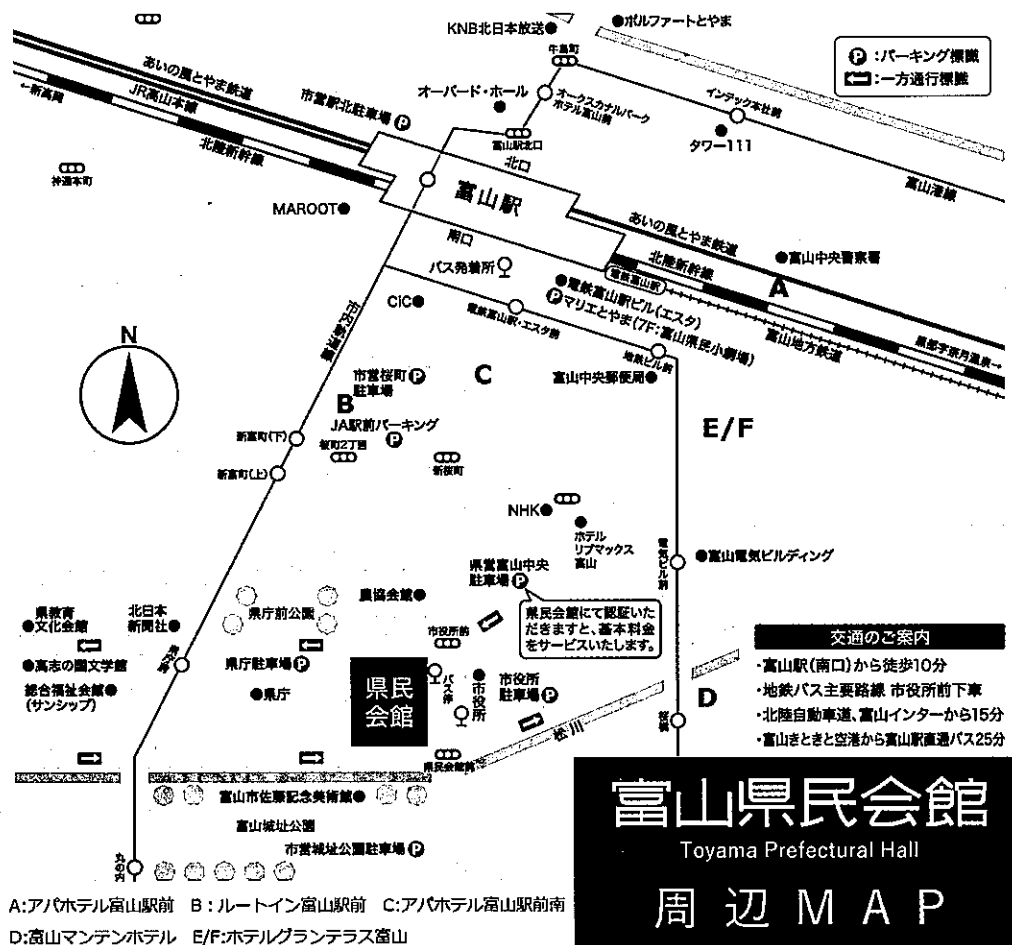
チェックアウト時に各自にてご精算ください。

※禁煙・喫煙ルームの確約はできませんので、予めご了承ください。

※駐車場の予約は確保致しかねますので、予めご了承ください。駐車料金は、各ホテルへ直接お問い合わせください。

【富山大会 大会会場・ホテル MAP】

富山駅から会場までは、徒歩10分程度です。



【Ⅱ】大会参加費のご案内

大会参加費 3,000円 (資料代含む。税込) ※旅行契約には該当いたしません。

※各分科会につきましては、必ず第2希望まで申込記号をご記入ください。

※参加費 3,000円 (資料代等) は、入金後、開催方法の変更の場合も含め、返金は一切行いません。また、宿泊費の取消・変更は、「4. 変更・取消について」のとおりです。

※大会役員、被表彰者、司会者、発表者の参加費は不要です。

【Ⅲ】来場交通手段 (申込時に記載ください)

	10月10日(木)	10月11日(金)
公共交通機関 (電車・市営バス等)	名	名
普通車 (自家用車・公用車)	台 名	台 名
中・大型車 (大型バス、マイクロバス)	台 名	台 名
中・大型車 (2.3m以上のハイルーフ車)	台 名	台 名

※会場 (富山県民会館) 駐車場の駐車スペースには限りがあります (80台程度、有料)。

できるだけ公共交通機関にて、お越しください。

※各県、県内市町村からの大型バス、マイクロバス及び2.3メートル以上のハイルーフ車については、会場から少し離れた駐車場をご案内する予定です。

3. 特別な配慮が必要な方へ

車イスの使用等で会場・客室設備面での特別な配慮が必要な方は、大会システムでの申込の際、備考欄にその旨をご記入ください。確認後、ご連絡させていただきます。

4. 変更・取消について

- (1) お申込締切後の変更・取消は書面（FAX）にて速やかにご連絡ください。
- (2) 宿泊の取消につきましては下記「ご旅行条件について」の取消料をご確認ください。

5. その他

- (1) 「大会参加証」は、大会当日資料の引換券となります。当日ご持参の上、受付でご提示ください。また、「分科会参加券」は分科会入場券となりますので、各分科会受付でご提示ください。なお、2日目からの参加の方は、各分科会受付で、「大会参加証」と「分科会参加券」をご提示の上、大会当日資料と引き換えてください。
- (2) 大会終了後に作成する「大会報告書」は、データで、各県事務局等に配付します。

ご旅行条件について

●募集型企画旅行契約（宿泊）

この旅行は、名鉄観光サービス(株)が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。この書面は、旅行業法第12条の4に定める旅行取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部になります。巻末の詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上、お申し込みください。

●お客様はいつでも取消料をお支払いいただくことにより契約を解除することができます。

取消料	21日前 まで	20日～ 8日前	7日～ 2日前	前日	当日	無連絡
宿泊（募集型）	無料	20%	30%	40%	50%	100%

●個人情報の取扱いについて (<http://www.mwt.co.jp/info/kojinjohohogo.shtml>)

ご旅行申込に際し提出いただいた個人情報につきましては、お客様との連絡のためや宿泊・運送機関等の提供するサービスの手配及び受領の手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。また、研究大会参加者名簿作成等のため主催者事務局にも提出いたします。当社の個人情報の取扱いに関する方針については、当社の店頭またはホームページでご確認ください。

●旅行業務取扱管理者は、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し担当者からの説明にご不明の点があれば、ご遠慮なく下記の取扱管理者にお尋ねください。

●この旅行代金は令和6年5月7日現在の運賃・料金を基準としております。

<旅行企画・実施>

【承認 24-0009】

名鉄観光サービス株式会社 富山支店

観光庁長官登録旅行業第55号 (一社)日本旅行業協会正会員
旅行業公正取引協議会会員

〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル5階

TEL 076-431-8056 FAX 076-431-2056

総合旅行業務取扱管理者 滝川 恵照 担当 古下(コシタ)・畔木・俣本

《営業時間》 月曜日～金曜日 9:30～17:30 土・日・祝日休業

